

奈良市教育振興基本計画について

本市では、「第2期 奈良市教育振興基本計画」に基づき、「生涯にわたり学び続け、他者と協働して未来を切り開く人間の育成」を目標とし、「みずから学ぶ子」「とことん学ぶ子」「つながり学ぶ子」を目指す子ども像に位置づけ、取組を進めてきました。

また、子どもたちが身に付けた知識や技能を生かし、「自ら学び、自ら考える力」と、「他者と協働する力」の育成にも努めてきました。

最終年となる今年は、「第3期 奈良市教育振興基本計画」策定に向けた具体的な検討を進める年になります。

次期教育振興基本計画に向けて

子どもたちが未来の社会を生き抜くために、「生涯学び続ける」資質能力を育み、受け身でなく自ら考えて動く「自律した学習者」を育てることが、学校教育の使命と言えます。

これからの教育のあり方として、全ての子どもたちが多様なニーズに対応した教育を受けられるように「学びの環境を整えていく」ことが大切です。これまでの子ども観や学校観、授業観などを、子ども主体の「観」に「転換」させていかななくてはなりません。まさしく「学びの変革」が求められています。

このことは、「当たり前を見直すこと」と重なりますが、今までの前例踏襲ではなく、これからの未来を生きる子どもたちに、真に必要なことは何かという視点で、教育活動に価値を見出していきたいと考えています。

さらに、身体的・精神的・社会的に良好な状態に自分自身を高めることを目指し、幸福感や生きがいを感じられる「ウェルビーイング」の向上に努め、「誰一人取り残さない教育」の実現に向けて取り組んでいきたいと考えています。

教育振興基本計画の策定に向けては、学校長をはじめ、各校の教職員の皆さんの意見も伺いながら進めていきたいと考えています。

人事ヒアリングに向けて

それぞれの学校や地域の実情に合わせ「学校ビジョン」を作成し、学校経営に取り組んでいためています。

最近では、子どもの目指す姿の実現に加え、「教員の働き方改革の視点」も大切です。限られた人材でどのように教育を推進するのか、校長としての明確なビジョンが求められています。

「人事評価及び人事異動具申ヒアリング」では、一年の評価を踏まえ、学校長としての次年度の構想や改革についての想いを聞かせていただきたいと考えています。

インフルエンザが大流行しています。手洗い・うがい、咳エチケット等の基本的な感染予防対策の徹底をお願いします。気温の低い日が続きますが、先生方ご自身の体調管理にも十分に注意し、教育活動に邁進してください。